

	<b>牧野記念庭園 牧野富太郎博士の最後の書齋がついに完成！ 書齋展示の一般公開を開始！</b>
---	--

会 期	4月3日（月）午前9時から
と ころ	区立牧野記念庭園 書屋展示室（東大泉6-34-4） 入園無料
U R L	<a href="https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/annai/fukei/makinokinenteien/index.html">https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/annai/fukei/makinokinenteien/index.html</a>

3日、牧野記念庭園では、本日から放送が開始するNHKの連続テレビ小説「らんまん」のスタートと合わせ、令和4年度に生誕160年事業として1年をかけて進めてきたプロジェクト「牧野博士の書齋再現展示」の一般公開を開始しました。

再現した書齋では、博士が使用していた蔵書や文房具等を、博士を慕う方たちのご協力を得て、博士のこだわりと共に細部まで復元し展示しています。

また、展示を実施するにあたり立ち上げた、練馬みどりの葉っぱい基金「牧野記念庭園書齋再現プロジェクト」には、目標額500万円を超える寄付が集まりました。

書齋再現展示のデザインのほか本のレプリカ作成などを担当した里見和彦さんは、「亡くなるまで時間がないと言って、朝から晩まで研究していた博士の情熱やもっといい仕事がしたいという博士の気持ちを展示で再現できるように取り組みました」と話しています。



▲書齋再現全体イメージ



▲再現された書齋内

**【書齋の見どころ】**

**①蔵書のレプリカ**

高知県立牧野植物園（以下、「県立植物園」という）の協力のもと「牧野文庫」で所蔵する古書や蔵書を撮影して作成したレプリカなど、約3,200冊を展示。当時の色鮮やかな本の表紙を再現するため、手書きで作成した本もあります。



▲①蔵書のレプリカ

**②博士こだわりの文房具**

博士が使っていたはさみは、鹿児島県種子島のはさみ（種子鋏）と判明。種子島の職人が特別に制作したものを展示しています。



▲②博士こだわりの文房具

**③博士が標本作製に用いた新聞**

標本を作る際に使用した実際の新聞「牧野新聞」も展示。県立植物園が所蔵していた、関東版の新聞などを特別に頂いたものです。



▲③牧野新聞と胸乱

**【練馬みどりの葉っぱい基金の寄付について】**

練馬みどりの葉っぱい基金「牧野記念庭園書齋再現プロジェクト」を立ち上げ、目標額500万円の寄付を募集しました。（令和5年2月28日募集終了）  
寄付件数：172件 総額：5,279,162円

**【問合せ】**

練馬区 みどり推進課 施設係 電話 03-5984-1664